2025年度セグメント別活動状況

セグメント	繊維	機能化成品	炭素繊維複合材料	水処理・ヘルスケア
実績概況	衣料用途は欧州市場の低迷や海外品との競争激化の影響が継続していますが、総じて堅調に推移しました。 産業用途は自動車用途をはじめ市況に停滞感がみられる中、コスト改善に努めました。	樹脂・ケミカル事業は、樹脂事業が自動車用途の市況低迷の影響を受けて伸び悩み、ケミカル事業も市況悪化の影響を受けました。 フィルム事業は、電子部品関連や車載用コンデンサ用途の需要が伸長しましたが、バッテリーセパレータフィルムの販売が低迷しました。 電子情報材料事業は、パワーインダクタ向け新製品の販売が伸長しましたが、有機EL関連材料・回路材料において中国でのパネル需要低迷及び競争激化の影響を受けました。	航空宇宙用途はサプライチェーンの在庫調整影響の緩和に伴い、大手顧客向けの販売は順調に回復しました。 スポーツ用途は、アウトドアレジャーの高級品の販売は堅調に推移しましたが、汎用品の在庫調整が継続しました。 一般産業用途は、圧力容器用途などで調整局面となり、風力発電翼用途も回復が遅れました。	水処理事業は、中東向けの逆浸透膜や国内のプラント建設事業が堅調に推移しましたが、中国の市況低迷や競争激化の影響を受けました。 医薬・医療事業は、血液透析用ダイアライザー及びカテーテル等の販売が伸び悩みましたが、高付加価値品へのシフト及びコスト削減に努めました。
業績(億円) *各セグメント内の( )内の数字はセグメント別構成比です	売上収益 10,511 (41%) 事業利益 680 (39%)	売上収益 8,944 (35%) 事業利益 563 (33%)	売上収益 3,001 (12%) 事業利益 176 (10%)	売上収益 1,668 (6%) 事業利益 151 (9%)
主要製品	• ナイロン・ポリエステル・アクリル等の糸・綿・紡績糸及び織編物 • 不織布 • 人工皮革 • アパレル製品等	• ナイロン・ABS・PBT・PPS等の樹脂及び樹脂成形品 • ポリオレフィンフォーム • ポリエステル・ポリエチレン・ポリプロピレン等のフィルム及びフィルム加工品 • 合成繊維・プラスチック原料 • ファインケミカル • 電子情報材料 • 印写材料等	• 炭素繊維・同複合材料及び同成形品等	• 水処理用機能膜及び同機器 • 医薬品 • 医療機器等

*2026年度の報告セグメントに基づき組み替えて表示しています。
上記のセグメント以外に、その他の売上収益1,726億円(7%)、その他の事業利益161億円(9%)、事業利益の調整額▲312億円があります。